

スマイル～バック・トゥ・ライフ ～学習障害のある子どもたちの識字力向上～



Sri Lanka / スリランカ

氏名 Nilani Chandrika Weragoda ニラーニ (5期)

所属団体 シットタルタ児童発達財団

新型コロナウイルスのパンデミックのため、スリランカでは国がオンライン教育を実施しましたが、オンライン環境を整えられる家庭は半数に満たない状況です。そのため、そうした環境を整えられない貧困層に対し、学習環境を提供しました。

所属組織の概要

ニラーニ氏が創設した財団で、子どもの発達プログラムや、識字率向上のための読書プログラム、幼稚園教諭等に対する研修等を実施し、スリランカの子どもたちが良い環境の中で楽しく、前向きに成長できるよう、支援しています。



事業の目的

スリランカの状況は、新型コロナウイルスの影響と政治による情勢不安のため、深刻な状況に陥っています。市場では必需品の不足が深刻で、貧困層や中産階級が暮らす地域では、ほとんどの貧困層が収入源を失ったため、日常生活を維持することに苦勞しています。スリランカ教育当局による対応は不十分で、村の子どもたちの多くが学習の機会を失いました。新型コロナウイルスのパンデミックにより、学校は2020年から2021年まで閉鎖され、教育当局はオンラインでの授業を実施しましたが、貧しい家庭はそうした設備を整えることができず、教育を受けることができませんでした。そのため、2年分の学習ができる環境を整え、識字能力を向上させることを目的に、本事業を実施しました。

活動地域

スリランカ西部州ガンパハ郡アッタンガラ地方のダンヴィラナ、ヴィヤレゴダ、メダワッタの3つの村に住む、生活基盤の弱い家庭の子どもたちに対して実施しました。

対象者

対象地域の3つの村の子どもたちは、毎週日曜日にジナラジャ寺院の宗教学校（仏教学校）に通っています。財団では、設立当初からこのお寺でさまざまな地域開発と児童支援プログラムを実施してきました。そのため、この日曜学校を通じて生活に困窮する子どもたちのためにプログラムを実施しました。

74人の子ども、52人の親、15人のコミュニティ・リーダー、8人の日曜学校教師、4人の小学校教諭、3人の政府の役人が参加対象となりました。



事業の成果

この事業を通して、以下の成果を得ることができました。

- ・学習障害の子どもに対する教師の対応力向上
- ・親や地域による、学習障害のある子どもへのシンハラ語やタミール語、英語の学習の積極的な支援
- ・学習障害の子どもに対する実践の普及

さらに、以下の成果を得ることができました。

- ・財団の保有する図書館と識字率向上プロジェクトを寺院と組み合わせて「仏教ソーシャルワーク・センター」とし、所有権を関係者の共有にすることになりました。
- ・日曜日の仏教学校に通う子どもの人数が増えました。
- ・学習障害のある子どもや学習に遅れのある子どもは熱心にプログラムに参加しました。
- ・子ども、保護者、地域が今回の取り組みを受け入れ、希望をもつことができました。



実施内容

3月～4月

教師の訓練および教材の開発

教師向けの教材を開発しました。教材には、字を読むことに困難を抱える子どもたちの評価ツールと、支援の方法が記載されています。四半期ごとにピアサポート・ミーティングをするなど、教師の継続的なサポートもしています。

4月24日

読む力のレベルを測定

子どもたちの96%が、教科書の簡単な読み書きにさえ苦労していることが明らかになりました。そこで、子どもたちを組分けして補講授業を行いました。

5月8日

保護者、コミュニティ・リーダー、政府の役人への意識向上プログラム実施



5月～10月

補講授業の開始

5月～12月

児童クラブの設立、支援

読書クラブを設立し、子どもたちが自らの創造性を発揮する機会をつくりました。毎月、子どもと保護者を対象に読書イベントを開催しました。多くは生活に困窮する家庭の子どもだったため、寺院と協力して、お茶や食事を提供しました。



6月～12月

子どもリーダーのワークショップ実施（毎月）

7月～10月

コミュニティ・ライブラリー、ホーム・ライブラリーの設置

現地の言語で書かれた子ども向けの本をつくり、地域、日曜学校、児童クラブなどでの読書活動に利用できるようにしました。そして子どもたちに、家庭で大人との読書習慣をつけること、本を積極的に読むことを教えました。

8月～12月

コミュニティ・レベルでの読書イベントの実施

5月、9月、12月

評価、文書作成



今後の展望

プログラム実施中に政治的な問題が発生し、国の情勢が悪化しましたが、こうした希望のもてない時期にこのプロジェクトを実施することができました。継続的に実施していくことが重要で、今後はサポート・サークルを設立し、保護者や地域の関与を強化していく必要があります。

収支報告

<収入>

項目	金額 (円)	内 訳
全社協からの助成金	333,545	
自己資金	172,845	
その他 (寺院の寄付)	50,400	
その他 (コミュニティの寄付)	12,600	
合 計	569,390	

<支出>

項目	金額 (円)	内 訳
教師の訓練・教材の開発	138,852	スタッフ手当 25,200 円 交通費 19,656 円 (12人分) 機材・教材費等 93,996 円 (4名分)
ベースラインとなる読む力の測定	26,838	交通費 9,828 円 (12名×3回) スタッフ手当 8,400 円 (2回分) 教材費等 8,610 円
コミュニティ・リーダー等 意識向上プログラム	57,540	スタッフ手当 6,300円 (3回分) 機材・教材費等 51,240 円
補講授業	98,112	交通費 65,520 円 (8か月×3名) おやつ代 16,632 円 教材費 15,960 円
リーダー・ピアサポーター研修	101,930	昼食・おやつ代 47,880 円 (20名分) スタッフ手当 25,200 円 (2日×3回) 機材・教材費等 28,850 円
コミュニティ・ライブラリーの 設置	87,360	棚 (2 本) 33,600円 本購入費 53,760 円
読書イベントの実施	20,244	子どもへのお土産代 14,280円 (68名分) 教材費 5,964 円
評価・文書作成	38,514	スタッフ手当 8,400 円 (2日分) 教師交通費 9,828 円 (12名×3日) 昼食・おやつ代 9,576 円 (2日分) 機材・教材費等 10,710 円
合 計	569,390	

注) 送金額 (日本円) と受領額 (LKR) から算出 (送金時点 2022 年 3 月 25 日)
換算レート: 1 スリランカルピー (LKR) ≒ 0.42 円